



データシート・キャプチャ・STORAGE MOUNTS

AIが読めるように、まず全部移動させますか？ お持ちのストレージを、接続するだけです。

Storage Mountは、NAS、サーバー、S3バケット、メールボックスへの保存済みの接続です。Connectors、インポートウィザード、独自のストレージを持つWorkspacesがすべてこれを使うため、認証情報を二度入力する必要がありません。IT部門と管理部門のために作られています。

一目で分かること

SFTP、WebDAV、S3、IMAP、またはReverse-SSHによる一つの接続。

接続をテストで一度確認され、暗号化して保存され、スケジュールに従って監視されます。その後、Connectors、インポート、Workspacesがこれを基盤とします。

01・概要

ストレージは、もうそこにあります。 PaperOfficeがそこに接続します。

契約書はNASに、スキャンはサーバーに、エクスポートはS3バケットにあります。移行には時間と信頼が必要です。Storage Mountを使えば、接続は一度設定するだけです。その後、Connectorがフォルダを読み取り、インポートウィザードが既存のファイルを取り込み、またはWorkspaceがSFTPストレージに直接保存します。

接続の種類

SSH/SFTP、WebDAV、S3互換、メール（IMAP）、Reverse-SSH、Scanner Endpoint

二つの用途

Connectorsとインポートのためのインポートソース、またはWorkspacesのためのBYOS-Storage

監視

定期的なハートビート、問題発生時のメール通知、Storage Mountごとのアクティビティログ

アクセス

Document AI › Storage Mounts
のWebアプリ、REST APIおよびMCP



六種類の接続

NASやサーバー向けのSSH/SFTP、NextcloudなどのWebDAV、S3互換のバケット、IMAPのメールボックス、Reverse-SSH、そしてPaperOffice Scanner Endpoint。

作成時に用途を固定

インポートソースまたはBYOS-Storage：用途はStorage Mountの作成時に固定されます。Workspaceのファイルを保存するStorage Mountは、Connectorsには使えないままロックされます。

まずテスト、そして保存

接続をテストは、Storage Mountを保存する前であっても、ホスト、認証情報、ベースパスを確認します。PaperOfficeはパスワード、鍵、トークンを暗号化して保存します。

ファイルブラウザ

PaperOffice内でリモートストレージのフォルダを閲覧し、新しいフォルダを作成できます。NASに追加のツールは必要ありません。

ハートビートと通知

到達性と応答時間をスケジュールどおりに確認します。間隔は5分ごとから設定できます。エラーが繰り返されると、最大五つのアドレスにメールが届き、問題が解消されると解除の通知も自動で届きます。

自社のストレージ、複製付き

BYOS-Storageとして、Workspaceはすべてのドキュメントを、お使用のSFTPストレージ上にAES-256で暗号化されたアーカイブとして保存します。追加のSFTP先は、すべてのファイル操作を複製します。

02・仕組み

一度接続する。 どこでも使う。

Webアプリで、四つの手順でStorage Mountを設定します。その後ファイルがどうなるかは、Connector、インポートウィザード、またはWorkspaceが決めます。Storage Mount自体は接続を保持します。

1

Storage Mountを作成し、用途を選ぶ

Document AI › Storage Mounts の下で Storage Mountを追加 をクリックし、用途を設定します： インポートソースとして使用 または BYOS-Storageとして使用。

2

接続先を入力する

接続タイプ でプロトコルを選び、ホスト、ポート、ユーザー、パスワード、ベースパスを入力します。S3の場合は、エンドポイントURLとバケットを追加します。

3

テストして監視する

接続をテスト でアクセスを確認します。アクション タブでは、ハートビートと接続の問題に対するメール通知を設定します。

4

Storage Mountを稼働させる

ConnectorまたはインポートウィザードがこのStorage Mountからデータを読み取ります。新しいWorkspaceは、保存先としてBYOS-Storageを選べます。

技術データ

機能	詳細
接続の種類	SSH/SFTP、WebDAV、S3互換、メール（IMAP）、Reverse-SSH、PaperOffice Scanner Endpoint
標準ポート	SFTPは22、WebDAVとS3は443、IMAPは993。1から65535の範囲で変更可能
BYOS-Storage	SFTP経由。ドキュメントは7zアーカイブ（AES-256）として保存。暗号化パスワードは16文字以上
監視	5分ごとのハートビート、最大5件のアドレスへの通知、Storage Mountごとのアクティビティログ
複製	SFTPによるBYOS-Storageの場合：追加のSFTP先。失敗した操作は再試行されます
REST API	storage_mounts/add、test、browse、mkdir、health、logs、mirrors-add（JSON本体）
MCPツール	po_storage_mounts_add、_test、_browse、_health、_logs、_mirrors_create など

03・実際の活用

一つのStorage Mount、三つの道筋。 チームがどう活用しているか。

NASを検索可能にする

NASへのSFTPStorage Mountと、インデックスモードのConnectorです。原本はNASに残り、PaperOfficeは検索とエージェントのためにすべてのドキュメントを読み取ります。

メールボックスを受信箱として

請求書用のメールボックス向けのメール（IMAP）Storage Mountです。Connectorが新しいメッセージを取り込み、添付ファイルは経理のWorkspaceに個別のドキュメントとして届きます。

人事ファイルを自社のハードウェアに

人事ファイル用のWorkspaceは、BYOS-Storageとして、お使いの自社SFTPサーバーに保存されます。二つ目のSFTPサーバーは、複製先として設定されます。

よくある質問

Storage MountとConnectorの違いは何ですか？

Storage Mountは、認証情報を含む接続そのものです。Connectorは、Storage Mountをインポートソースとして使い、そのフォルダを監視して、新しいファイルをインポートまたはインデックスとしてWorkspaceに取り込みます。

認証情報はどのくらい安全ですか？

PaperOfficeは、パスワード、鍵、トークンを暗号化して保存します。MCPの応答にはそれらが一切含まれません。Storage Mountが自己署名証明書を受け入れるのは、明示的に許可した後だけです。

当社のサーバーに外部から接続できません。どうすればよいですか？

接続の種類として リバースSSHでローカルフォルダに接続 を選んでください。社内のマシンが、PaperOfficeへ暗号化された外向きのトンネルを開くため、外部からの受信ポート転送は不要です。

APIからStorage Mountを管理できますか？

はい。REST APIでStorage Mountの作成、接続のテスト、ヘルステータスとログの取得、複製先の管理ができます。同じ機能はMCPツールとしても利用でき、例として `po_storage_mounts_health` があります。

はじめに

今日、最初のストレージを接続しましょう。

app.paperoffice.ai でアカウントを作成し、 **Document AI > Storage Mounts** で最初のStorage Mountを追加して、 **接続をテスト** をクリックします。料金ページには、ご契約プランに含まれるStorage Mountsの数が表示されています。

paperoffice.ai/ja/ai-storage-mounts-maunto-kuraudo-setsuzoku



モジュールの詳細

paperoffice.ai/ja/ai-storage-mounts-maunto-kuraudo-setsuzoku

料金

paperoffice.ai/en/pricing

お問い合わせ

paperoffice.ai/ja/otoiawase